

令和 7 年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）

事業名	学校保健委員会	実施時期	令和 7 年 3 月 5 日 ※ 3 月 11 日以降の取組を前倒して実施
趣旨又は目的	上西小学校の児童の健康を保持増進するために、学校・家庭、地域が連携して学校保健に関する研修と実践の推進を図る。		
参加者 (人数)	・上西小 P T A ・上西小教職員		
活動概要	・市学校保健研究大会報告 ・令和 6 年度の保健室利用状況 ・グループ協議 今年度のテーマの反省と来年度のテーマについて ※ 令和 6 年度のテーマ「親子で取り組もう！むし歯予防と体力アップ」について保護者による意見交換を行った。むし歯予防に関する意識は高まってきたが、再罹患を防ぐように継続した取組が必要であることを確認した。 次年度のテーマは、「むし歯予防」と「メディア利用」について取り組むことが決められた。		
活動写真 [説明]	 令和 6 年度の年間の取組の様子や数値について説明をした。  家庭での取組の様子をグループで話し合った  全体で共有した後、来年度のテーマについて話し合った。来年度は、むし歯予防とメディアの利用の 2 つについて取り組むこととなった。		

令和 7 年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）

事業名	田植え体験活動	実施時期	令和 7 年 4 月 1 1 日(金)
趣旨又は目的	○ 田植え体験活動を通して、日本の農業や食文化への理解を深め、自然と人との関わりや食の大切さについて考えることを目的としている。		
参加者 (人 数)	国上小全校児童(27人) 国上小学校職員(5人) 国上小PTA(15人) 国上校区住民(4人) 国上こども園 職員(2人) 園児(10人)		
活動概要	1年間を通した「米作り体験活動」の中の活動である。昨年2月に粃撒きし、発芽、成長と水かけや温度調整をしながら見守ってきた稲を学校田に植えていった。縦割り班で活動を行い、上級生が下級生の面倒を見ながら活動する姿も見られ、異学年間の交流も深めることができた。 PTA事業部を中心とした保護者に年間を通した指導や支援をしていただいている。通りかかった地域の住民や国上こども園の園児も活動の様子を見学していただき、元気に活動する国上小児童の様子を見ていただくことができた。		
活動写真 [説明]	 (保護者の指導のもと、学校田に苗を植える国上小児童) PTA事業部が中心となって稲の植え方を指導していただきながら活動を行った。児童を3つの縦割り班に分けて活動を行い、異学年間の交流を深めるとともに、高学年児童が国上小の中心となって指導力を発揮しようとする意識をもたせることができた。		

令和 7 年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）

事業名	第 3 回愛校作業	実施時期	3 月上旬
趣旨又は目的	伊関小学校卒業式に向けて、今年度 3 回目の愛校作業を児童、保護者、教職員全員で行い、学校への愛着を高め、卒業する 6 人の卒業生を盛大に祝うため。 次年度の親子留学に向けて、保護者で住宅を整備し、留学生親子が気持ちよく新学期を迎えられるようにするため。		
参加者 (人 数)	3 4 人 児童 1 6 人、保護者 1 0 人、職員 8 人		
活動概要	① 樹木の剪定、校舎内清掃 ② 敷地内の除草、草払い ③ 親子留学住宅の障子張り、清掃、庭清掃		
活動写真 [説 明]	親子留学住宅の障子張り、清掃、庭清掃		

令和7年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）

事業名	さとうすめ（黒糖作り）	実施時期	令和7年2月15日（土）
趣旨又は目的	郷土の特色を生かした活動（地元のサトウキビを使った黒砂糖作り）を行い、郷土愛や勤労・奉仕の精神を育むとともに、校区と青少年との触れ合いの場とする。		
参加者 （人数）	本校児童、職員、保護者、中・高校生、校区関係者（40人）		
活動概要	安納小学校で栽培し、5・6年生と保護者で収穫したサトウキビを原料として、地区活性化センターにて黒砂糖作り体験を行った。子供たちは、圧搾機を使用した搾りだしやかき混ぜて冷ます作業を交代で行った。出来立ての黒砂糖の試食もさせていただき、おいしそうに食べていた。出来上がった黒砂糖は参加者全員で持ち帰った。 さとうすめを行いながら、安納芋かりんとう作りも行った。自分達で育てた安納芋とサトウキビを使用したお菓子は格別な物であった。		
活動写真	 ○ サトウキビを絞る  ○ かき混ぜながら冷ます		
〔説明〕	 ○ 出来立ての黒砂糖を少しずつ試食  ○ 黒砂糖かりんとう作り		

令和 7 年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）

事業名	風本神社春季大祭奉納相撲大会	実施時期	3月23日（日）
趣旨又は目的	校区にある風本神社の春季大祭に合わせて、奉納相撲大会を行っている。 学校、地域、関係機関が一体となって伝統行事を行い、地域ぐるみで異年齢集団による体験活動を推進している。		
参加者	地域に居住している者、または出郷者		
活動概要	- 毎年、3月の最終日曜日に風本神社前相撲場で実施。 9自治会から選手を登録し、チーム戦と個人戦の試合を行う。小学生、中学生の部もあり、実施日の1週間前から各自治会で練習をして、本番に臨む。今年度、女子児童が参加。		
活動写真	【土俵開き】 		
[説明]	【小・中学生の対戦】 		

令和 7 年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）

事業名	安城小学校 家庭教育学級・学校保健委員会	実施時期	令和 7 年 3 月 4 日（火）
趣旨又は目的	安城小学校の児童の健全育成に向けて、保護者が情報交換を行ったり、適切な指導助言を受けたりすることで、家庭の教育力の向上を図る。		
参加者 （人数）	安城小学校校長・教頭、保護者、教職員（計 14 人）		
活動概要	○ 家庭教育学級において、今年度のう歯治療率の向上や再罹患率の改善に向けた取組の振り返りを行った。課題について、春休みの生活において実践できそうなものは各家庭で改善を目指すことを共通理解し、来年度も継続して話題にしていくことを確認した。 ○ 学校保健委員会では、種子島地区基幹相談支援センターから荒木潮彦先生を講師に招き、動画やゲーム等のメディアが脳や身体に与える影響や、メディアコントロールの必要性、睡眠時間確保の重要性について学ぶことができた。保護者同士でも情報交換を行いながら、各家庭でのこれまでの取組について振り返り、西之表市の申し合わせ事項であるインターネット接続機器の 9 時預かりも確認した。		
活動写真 [説明]	【家庭教育学級】 今年度のう歯治療率は昨年度に比べ高くなり、再罹患率も改善していることの説明が養護教諭から行われた。家庭や学校での継続した取組の成果が見られつつあることを保護者が実感することができたようである。 【学校保健委員会】 年間の振り返りから、ゲームや動画視聴時間が長い家庭が多いことが課題として挙げられたため、今回の講話を実施した。 来年度の安城小学校の課題解決のために、今回の講話での情報や知識を活用していきたい。  〔学校保健委員会で、動画やゲーム等のメディアが脳や身体に与える影響や、メディアコントロールの必要性、睡眠時間確保の重要性について学ぶ〕		

令和 7 年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（西之表市）

事業名	種子島シンポジウム	実施時期	令和 7 年 3 月 1 日
趣旨又は目的	持続可能な種子島を目指す中で、住民と島外から種子島の活動に参加する人が一堂に会し、次世代に何を残していけるか、会場の全員で議論する。		
参加者 (人数)	種子島島内からの一般参加者（約 250 人） 種子島中学校発表者（4 名）・参加者（約 30 名）		
活動概要	種子島では、大学や企業等と行政・地域が連携し地域課題と先端的な研究を結び付け、課題解決を図りつつ、持続的な社会モデルを構築する取り組みを行っている。		
活動写真 [説明]	 【プラチナ未来人財育成塾での発表の様子】 大学や企業の取組や島内の高校・中学校の取組の発表がありました。 種子島中学校からは、8月に東京都市大学で開催された「プラチナ未来人財育成塾」に参加した2年生4人が発表しました。「これからの種子島の未来をどう変えていくか、常識を疑って考えることから3つの『Do』…『Would do』『Should do』『Can do』で実践していきましょう」と、大学生や高校生に劣らない素晴らしい内容で、堂々と発表しました。		

令和7年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 屋久島町 ）

事業名	主体的に活動するモデル地区子ども会活動の発表	実施時期	2月23日・4月21日
趣旨又は目的	令和6年度「主体的に活動するモデル地区子ども会」として活動した団体の活動状況を紹介することにより、町民等に子ども会活動についての理解を得る機会とする。また、他の単位子ども会へは次年度以降の活動を進めていく上での参考とする機会とする。		
参加者 (人数)	2月23日(日) 屋久島町生涯学習大会での活動発表「脇仲浜子ども会」20人 4月21日(月) 屋久島町子ども会連絡協議会総会での活動発表「平野子ども会」1人		
活動概要	【2月23日(日) 屋久島町生涯学習大会】 脇仲浜子ども会の小中学生20名が「活動紹介」「年間行事」「デイ・キャンプ」「鬼火焚き・しめ縄作り」「門回り」等について写真や動画によって発表した。子どもたちが自ら考え、実践する様子が詳しく紹介され、参加者からは「子ども会の様子がよく分かった」「次年度の参考になった」等の意見が出された。 【4月21日(月) 屋久島町子ども会連絡協議会総会】 平野子ども会が令和6年度に取り組んだ、稲作事業等の体験活動について発表した。子どもの同士のコミュニケーションや大人と子どもの関わり、高齢者と子どもの関わり等がよく分かる動画紹介があり、参加者からは「子どもたちの豊かな体験活動が子どもたちの健全育成につながっている」等の意見が出された。		
活動写真 [説明]	【2月23日(日) 屋久島町生涯学習大会 活動発表及び活動掲示】   【4月21日(月) 屋久島町子ども会連絡協議会総会 活動紹介】  		